



令和6年5月25日

市政記者クラブ 様

東山総合公園
担当 動物園 白木・江口
電話 782-2111

ツシマヤマネコの赤ちゃんが2頭生まれました

東山動物園で飼育しているツシマヤマネコのメス(りん No.99)が2024年5月24日に2頭の赤ちゃんを出産しましたのでお知らせします。東山動物園における出産は、通算7例目で、今年2例目となります。

ツシマヤマネコの飼育下繁殖については、環境省と(公社)日本動物園水族館協会が「生物多様性保全の推進に関する基本協定」に基づいて取り組んでいます。

記

1 出産の経緯

- 5月24日昼過ぎから、りん(No.99)は落ち着きが無くなり、出産の兆候が見られる。
- 5月24日午後5時頃から、陣痛を確認する。
- 5月24日午後8時9分に1頭目の出産を確認する。
- 5月24日午後8時31分に2頭目の出産を確認する。
- 5月24日午後10時に授乳を確認する。

2 両親

個体No.	愛称	性別	年齢	来園日
No. 99	りん	メス	1歳 (2022年7月6日 福岡市動物園生まれ)	2023年12月11日
No. 83	勇希(ゆうき)	オス	7歳 (2017年5月11日 京都市動物園生まれ)	2019年11月14日

3 出産に至った状況

- 交尾 2024年3月20日
- 妊娠確認 2024年5月10日の岐阜大学動物繁殖学研究室によるホルモン値の測定及び2024年5月17日に実施したX線撮影により妊娠を確認
- 出産 2024年5月24日 (最終交尾から65日目)

4 誕生した仔について

- 現時点で赤ちゃん2頭の性別は不明です。
- 公開については現段階では検討しておりません。

【参考】

■東山動植物園のツシマヤマネコ飼育頭数（今回の繁殖個体を除く）

7頭（オス2頭、メス2頭、不明3頭）

■国内のツシマヤマネコ飼育頭数

10施設 34頭（オス15頭、メス16頭、不明3頭）※2024年5月9日現在
(今回の繁殖個体を除く)

■ツシマヤマネコについて

長崎県の対馬だけに分布する野生のネコであり、ベンガルヤマネコの亜種とされています。野生での生息数は推定90または100頭程度と絶滅が心配されており、国の天然記念物で、平成6年3月に国内希少野生動植物種に指定されました。体長 約50~60cm、体重 約3~5kgの大きさで、全体の斑点模様、額の縞、太く長い尾や耳裏の白斑（虎耳状斑）が特徴です。主に森林に生息していますが、田や畑で主にネズミ類を捕食します。絶滅危惧IA類（環境省レッドリスト2020）。

【写 真】※写真データが必要な場合はご連絡ください。

■ 母親と生まれた赤ちゃん（5月24日撮影）



■ 赤ちゃんの両親



母親：No.99 りん



父親：No.83 勇希